利用のてびき

2019年度

来て！見て！体験！テンパーク！

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立岩手山青少年交流の家

もくじ

1. はじめに　P 1
2. 利用について　P 2
3. 利用申込について
   - （1）利用申込フロースケジュール　P 3
   - （2）利用申込手続きフロー　P 4～5
   - （3）研修計画（プログラム）の作成　P 6～7
4. 生活について
   - （1）標準生活時間　P 8
   - （2）利用時の流れ　P 9～10
   - （3）清掃　P11
   - （4）布団のたたみ方　P12
   - （5）その他　P13
5. レストラン及び売店の利用について　P14～15
6. 利用に関わる料金及び変更について　P16～17
7. 活動プログラム一覧　P18
8. 貸出物品一覧　P19
9. 施設の概要
   - （1）屋内研修施設一覧　P20
   - （2）屋外研修施設一覧・その他の施設　P21
   - （3）宿泊棟・研修棟案内図　P22～23
   - （4）施設周辺案内図・キャンプ場案内図　P24～25
10. キャンプ場の利用について　P26
11. 南部曲り家の利用について　P27～28
12. 近隣医療機関一覧　P29
13. バス・ワゴン車送迎について　P30
14. アクセス　P31
15. 近隣施設紹介　P32
16. 利用申込書類　P33～49

1. はじめに

国立岩手山青少年交流の家は、自然体験・奉仕体験などの各種研修活動、基本的な生活習慣を身につけることなどを通して、青少年の健全育成を図ることを目的に設立された集団宿泊研修施設です。

秀峰岩手山の自然豊かな山裾にて、夏は登山・キャンプ・野外炊事等、冬は雪上活動等の様々な野外活動が体験できます。また、一年を通じて、各種創作活動や体育館・研修室等を利用した各種研修活動ができます。

青少年期には、その時期にしか発見･体験･実践できないことがたくさんあります。それらの発見･体験・実践から得られる「ワクワク」や「ドキドキ」を、お手伝いするのが、私たち国立岩手山青少年交流の家の役目です。

若き日の宮澤賢治や石川啄木を育んだ岩手の大地の中で、机上の学習では得られない「何か」を、新たな「自分」を、様々な体験を通じてきっと発見することができるでしょう。

感動体験があなたを待っています！

2. 利用について

● 利用できる団体（２名以上から受け入れ）

○ 幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、短期大学、大学、各種専門学校等
○ 学校の部活動、子ども会、スポーツ関係団体、文化関係団体等
○ 青少年団体、社会教育団体、サークル等
○ 家族、グループ、ＰＴＡ、クラス会等
○ 研修や交流を目的とした企業、官庁等
○ その他、目的を持って活動する団体であれば、**どなたでも利用いただけます。**
お気軽にご相談ください。

※ ただし、営利を目的とした活動（販売や勧誘等）、政治活動、宗教活動を行うことはできません。また、幼児・児童・生徒だけの利用はできません。必ず成人または青年の引率者が必要になります。

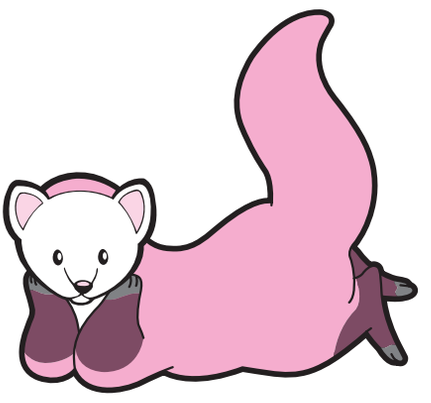
● 利用できない日

○ 当施設が定める休館日及び12月28日～１月４日までの年末年始。
○ 施設の行事及び工事・保守点検等。

※ ホームページ（下記参照）でも確認できます。ご不明な点がありましたら、電話でお気軽にご相談ください。

独立行政法人国立青少年教育振興機構
国立岩手山青少年交流の家
National Iwatesan Youth Friendship Center

〒020－0601
岩手県滝沢市後292
TEL ： 019－688－4221
FAX ： 019－688－5047
ＨＰ ： https://iwate.niye.go.jp
E-mail：iwate-suishin@niye.go.jp



3. 利用申込について

（1）利用申込フロースケジュール

	利用団体	交流の家
前年度の７月上旬		利用団体へ「利用希望申込書」を送付いたします。
前年度の８月下旬	次年度の「利用希望申込書」を提出してください。	
前年度の９月～11月にかけて		●ご提出いただいた各団体の利用期日を調整します。日程調整後、各団体に利用日を通知します。
前年度の11月下旬	次年度の利用期日の通知がお手元に届きます。	
利用日の２～３ヶ月前	事前相談・事前踏査等をおすすめいたします。 ・施設の利用の仕方 ・活動プログラムについて ・活動場所の実地踏査　等	宿泊室に空きがあれば随時電話での申込みができます。 詳しくは**（2）利用申込手続きフロー**をご覧ください。
利用日の40日前まで（必着）	「利用申込書」、「活動日程表」、「食数票」を提出してください。（メール・FAX可）	
利用日の３週間前		●各団体の日程（活動場所や活動プログラム）を最終調整します。 ●宿泊室・下足割振をご希望の団体には、郵送またはメールにてお知らせします。
利用日の１～３日前	●食数等の変更 ・本館レストラン食 （朝食、昼食が利用日前日の16:00まで夕食が利用日当日の11:00まで） ・弁当、野外炊事 （利用日の３日前の11:00まで※土日祭日は除く）	※ご家族や小グループ等は、宿泊室に空きがあれば３日前までの申込みが可能です。（詳しくは、随時お問い合わせください。）
利　用　当　日		

※日帰りで体育館のみ利用の団体は利用日の３週間前から受付になります。

（2）利用申込手続きフロー

●利用申込の仮予約

①日時、利用人数等の計画を立ててください。
②宿泊利用希望団体は、当施設ホームページ（https://iwate.niye.go.jp）にて宿泊室空室状況を確認できます。なお、ホームページでは、施設の概要、活動内容等も確認できます。
③利用計画の概要が決まりましたら、電話またはメール、ホームページの利用仮申込フォームにて仮予約の申し込みをしてください。
※メール、利用仮申込フォームからのお申込みの場合、交流の家からの電話またはメールによる確認で仮予約が完了となりますのでご注意ください。

仮予約は電話かメール、WEB申込で!

●利用のてびき送付

利用申込の仮予約受付後､希望する団体には｢利用のてびき（利用申込書様式封入）｣ 等を送付します。
※利用申込書様式は、ホームページ上からもダウンロードできます。

●事前相談

より充実した活動計画を作成するため、プログラム相談・施設見学等の事前相談を実施しています。希望団体は必ず電話にて相談日時をご予約ください。

●利用申込書等の提出（ご利用の40日前までに必着）

以下の書類をご提出ください。
①　利用申込書　　②　活動日程表　　③　食数票　　④　利用者名簿
⑤　食物アレルギー事前確認票（該当者がいない場合は提出不要）
また、必要に応じて以下の書類をご提出ください。
⑥　指導依頼申込書　　⑦　登山計画書

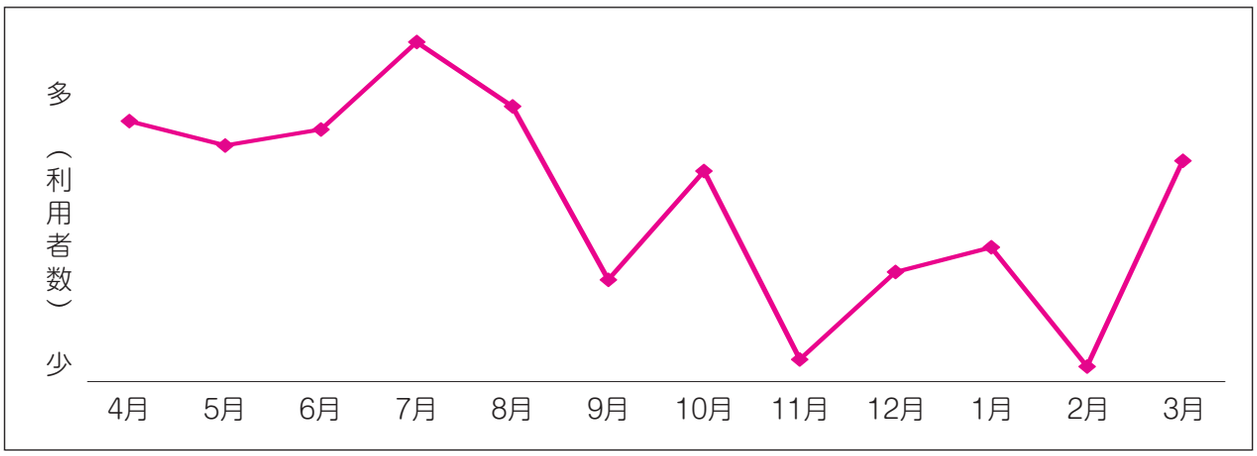
※メール・郵送・ＦＡＸのいずれかの方法でお送りください。
（岩手山青少年交流の家　事業推進係
TEL：019−688−4221　FAX：019−688−5047　E-mail：iwate-suishin@niye.go.jp）
※利用申込書等の提出後、活動日程（研修室等）・宿泊室割振・清掃割振等の調整を行います。
※利用する研修室等の情報が必要な団体は、利用の約３週間前を目安に電話にてお問い合わせください。

利　　用　　当　　日

※　参加者を募集して当施設を利用する場合は、利用申込書の提出期限までに参加人数が確定できるような募集期間の設定をお願いします。
※　利用予定日の40日前を過ぎてお申込みをされる場合は、利用申込書類を速やかにご提出願います。
※　他団体との研修室等の調整状況によっては、ご希望する活動計画に添えない場合があります。

●2019年度の混雑状況

平成30年12月現在のものです。
詳しい混雑状況は、電話でご確認ください。

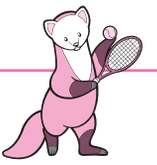


●施設の周辺状況

その年度によって若干異なる場合がございます。あらかじめご了承ください。

春 4月 ｜ 6月	３月は残雪があります。桜の開花頃より少しずつ暖かさが増し、新緑が美しい季節になります。朝晩は肌寒い日がありますので温度調節できる服装でお越しください。 **ポイント！** ４月からはオリエンテーリングなどの野外活動が楽しめます。鞍掛山は４月下旬に、姫神山は５月の第３日曜日に山開きがあります。カタクリなどの植物を楽しむことができます。ウォークラリーのコースでは、湧水や水芭蕉などを見ることができます。
夏 7月 ｜ 8月	暑い日が続きます。水分はこまめに補給することを意識してください。この時期は夕立や雷雨などの急な天気の変化にご注意ください。野外活動を行う場合は、安全のため、帽子・長袖長ズボンが基本となります。 **ポイント！** 岩手山の山開きが７月１日にあります。暖かい日が多いため、キャンプ泊やキャンプファイヤー、野外炊事などの野外活動がおすすめです。利用団体が最も多い時期になります。混雑する場合がございますので研修場所や時間等の調整にご協力をいただくことがあります。
秋 9月 ｜ 11月	所周辺の木々が紅葉し始めます。また、徐々に肌寒くなる時期です。11月の中旬から雪が降ることもあります。温度調節できるように上着をお持ちください。 **ポイント！** この時期は、さわやかな天気が安定します。ドングリや落ち葉を使ったクラフトができます。また、普段とは違う環境で学習や運動をしたい方におすすめです。９月下旬のテンパークまつりでは、様々な体験活動を行うことができます。ぜひお越しください。
冬 12月 ｜ 3月	この時期は雪が降り積もります。寒さと雪道への対策をしてお越しください。空気が澄んでおり、晴天時は岩手山や夜空などがとてもきれいです。雪上活動を行う場合は、衣服が濡れることがありますので、着替えをご用意ください。 **ポイント！** スノーチューブやソリ、スノーシュー、スポーツ雪合戦など雪を利用した活動がおすすめです。こちらは道具の貸出もしておりますので、P19の貸出物品一覧を参考にしてください。寒い時期ならではの寒稽古や新入学、受験に向けての学習合宿などにも利用できます。

（3）研修計画（プログラム）の作成



☆ Point1 ☆「ゆとりのあるプログラム」

- 活動の合間に十分な時間をとることで、予定のプログラムを実施することが可能になります。利用の目的に沿って、ゆとりのある計画を立ててください。また入浴や食事の時間は他の団体との調整が必要になる場合がありますので、余裕をもった編成を心がけてください。

☆ Point2 ☆「体験学習のサイクルを意識する」

- 参加者が体験して得た「気づき」をより深く「知識や知恵」につなげるため、体験しっぱなしではなく「ふりかえり」を行うことでより充実した活動をすることが出来ます。「ふりかえり」では仲間と考えを分かち合ったり、達成感を感じたり、体験した事をより深めることが出来ます。体験学習のサイクルについては次項をご覧ください。

☆ Point3 ☆「荒天時のプログラムを考慮する」

- 突然の雨や荒天時で予定の活動ができない場合があります。荒天プログラムを必ず立てることで効率的に研修を進めることができます。創作活動やレクリエーションなど、館内でできるプログラムもいろいろあります。

☆ Point4 ☆「利用のてびきを確認する」

- 事前に、引率者で利用のてびきを確認し、参加者にも周知しておいてください。

☆ Point5 ☆「事前相談を利用する」

- 当施設に来所していただいての事前相談をおすすめします。事前に活動内容や施設の確認を行うことで、より充実した研修プログラムの作成が可能です。

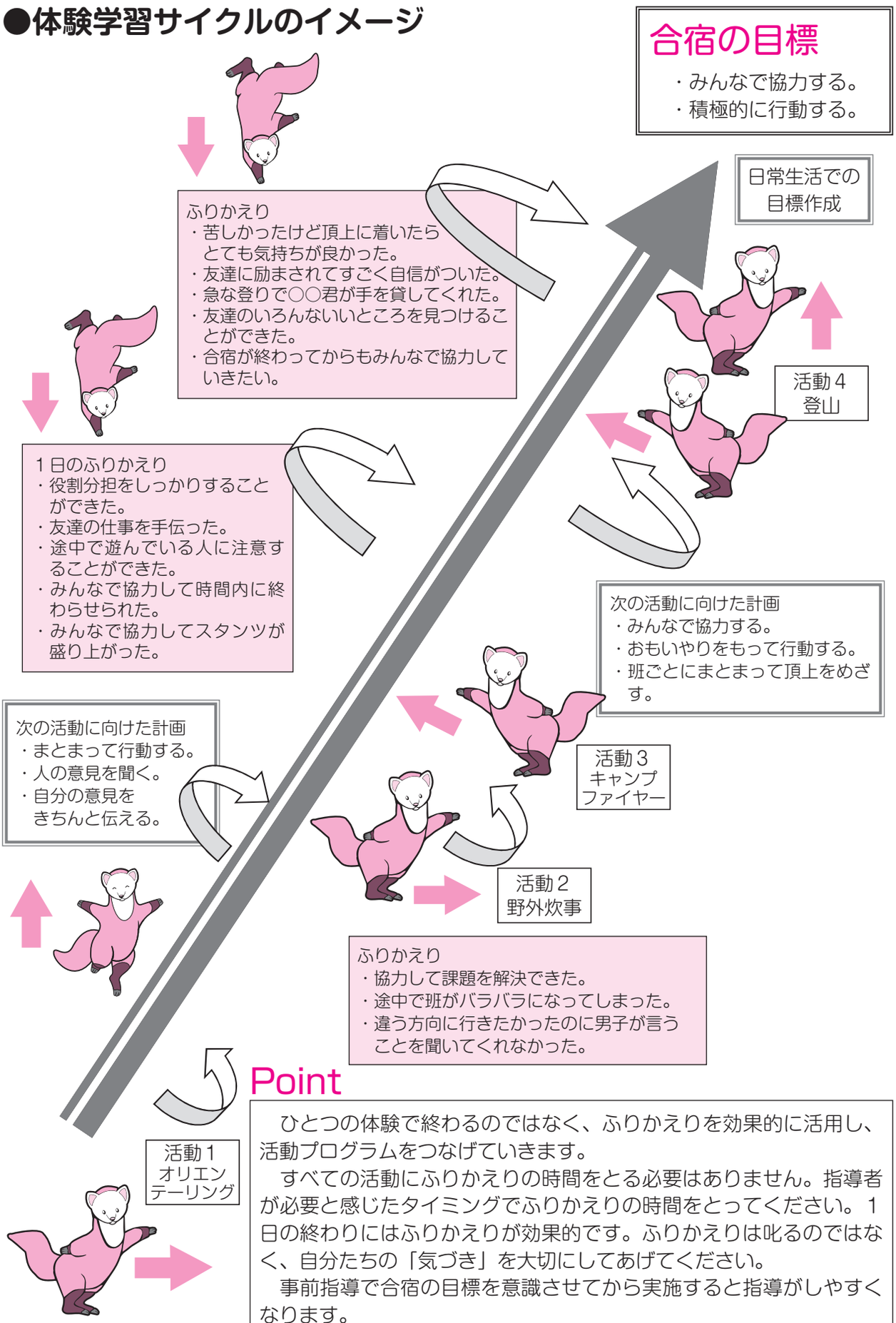
☆ Point6 ☆「プログラムデザインを作成する」

- 宿泊の日程を作成する際、ねらいに沿ったプログラムを意識しましょう。例えば、同じ「登山」を実施する場合でも、ねらいが「自然と親しむ」なのか「仲間と協力する」なのかで前後の活動プログラムの内容が変わってきます。団体としてどんなことをしたいのか？ねらいを意識するとプログラムの選択や組立が易しくなります。

☆ Point7 ☆「安全対策を忘れずに」

- 豊かな体験活動は安全から。交流の家のプログラムは指導員による直接指導があるものと、利用者のみで行う自主活動の２種類があります。いずれの場合でも、緊急連絡体制や指導者の配置について細案を作成し、特に自主活動のプログラムでは事前の実地踏査や事前相談にて危険箇所を確認してください。

●体験学習サイクルのイメージ



Point

ひとつの体験で終わるのではなく、ふりかえりを効果的に活用し、活動プログラムをつなげていきます。

すべての活動にふりかえりの時間をとる必要はありません。指導者が必要と感じたタイミングでふりかえりの時間をとってください。１日の終わりにはふりかえりが効果的です。ふりかえりは叱るのではなく、自分たちの「気づき」を大切にしてあげてください。

事前指導で合宿の目標を意識させてから実施すると指導がしやすくなります。